

平成21年2月10日

各位

上場会社名 セガサミーホールディングス  
 代表者 代表取締役会長兼社長 里見 治  
 (コード番号 6460)  
 問合せ先責任者 執行役員 秋庭 孝俊  
 (TEL 03-6215-9955)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	470,000	15,000	13,000	5,000	19.85
今回発表予想(B)	435,000	2,500	500	21,500	85.34
増減額(B-A)	35,000	12,500	12,500	26,500	
増減率(%)	7.4	83.3	96.1		
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	458,977	5,829	8,224	52,470	208.26

### 修正の理由

遊技機事業においては新たな開発体制のもとで開発が進められた複数のパチンコ機がヒットに結びつき、パチンコ遊技機事業の年間販売台数は42.1万台(期初計画28.0万台)となる見込みです。一方でパチスロ遊技機事業は平成16年7月に施行された規則改正の影響を受け、厳しい状況が続いております。しかしながら、平成20年3月に「技術上の規格解釈基準」が一部緩和され、ゲーム性を高めた斬新なパチスロ遊技機の開発に注力しております。その過程で主力タイトルの供給が来期となること等によりパチスロ遊技機事業の年間販売台数は13.4万台(期初計画24.8万台)となる見込みです。遊技機事業全体では売上高・利益ともに期初計画達成を見込みます。

アミューズメント機器事業においては、国内アミューズメント施設業界の経営環境を勘案し、一部製品の発売を見合わせ、また厳しい経済情勢を受け、海外における販売が計画未達となることから、売上高・利益ともに期初計画をやや下回る見込みです。

アミューズメント施設事業においては、不透明な景気先行きのもと、個人消費の低迷などを受け、既存店舗収益が引き続き前年実績を下回る水準で推移しており、売上高・利益ともに期初計画を下回る見込みです。

コンシューマ事業においては、海外では「Sonic Unleashed」、「Football Manager 2009」など年末商戦における主力タイトルや、「Mario & Sonic at the Olympic Games」などの前期タイトルのリピーター販売が堅調に推移したものの、国内の年末商戦向けタイトルの販売が低調に推移したことから、年間販売本数は期初計画を下回る見込みです。加えて、急速な円高を受けて為替前提レートを見直した結果、コンシューマ事業全体では売上高・利益ともに期初計画を下回る見込みです。

また、特別損失の項目として、アミューズメント施設事業における追加店舗閉鎖に伴い152億円、株式会社セガにおける固定費削減を目的とした希望退職者募集に伴う特別退職金支出により40億円、サミー株式会社におけるコア事業への経営資源集中を目的とした周辺機器事業からの撤退に伴い25億円等の計上を見込みます。

以上の結果、通期連結売上高4,350億円(前回発表値と比較して350億円の減少)、営業利益25億円(前回発表値と比較して125億円の減少)、経常利益5億円(前回発表値と比較して125億円の減少)、当期純損失215億円(前回発表値は50億円の当期純利益)を見込みます。なお、平成21年3月期末の配当予想に修正はございません。

このような経営実態を受けて、アミューズメント機器事業、アミューズメント施設事業、コンシューマ事業を手がける株式会社セガでは収益改善に向けて、下記のような経営施策に取り組めます。

アミューズメント施設事業において、来期以降の売上高を厳しく見積もっても確実に利益を創出できる収益構造を確立すべく、新たに将来性・収益性の低い約110店舗を閉鎖いたします。

コンシューマ事業ならびにアミューズメント機器事業においては、開発タイトルの絞込みや内製比率の向上等により、研究開発費を来期において、ピーク時の平成20年3月期と比較して、約20%削減する方針です。

また、株式会社セガでは現状の収益規模に見合った適正人員規模にすることを目的に、560人程度の希望退職者募集を決定いたしました。これによって、来期以降、セガ全社で50億円程度の人件費削減を図り、アミューズメント施設事業ならびにコンシューマ事業をはじめ全社の収益改善を確実なものとして参ります。

本資料内に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上